



# STEP BY STEP

## 風が吹いている

10月9日、袴田巖さんは無罪が確定し、ようやく死刑囚という立場から解放されました。10月23日、福井女子中学生殺人事件で殺人犯の濡れ衣を着せられていた前川彰司さんに再審開始決定。それに続くように11月28日、冤罪により2歳の養子を虐待して死なせた罪に問われていた今西貴大さんに、大阪高裁が無罪判決を言い渡しました。確実に再審開始を後押しする風が吹いていると思いますし、世間の関心もこれまでになく、高まっていることは確かです。(検察は12日、今西事件の再審開始を不服とし、最高裁に上告しました。)

袴田さんのニュースは全国紙のトップを飾ったのでご存知の方も多いと思いますが、事件発生から無罪確定まで58年間の月日を費やしています。前川さんも事件発生から先日の再審開始決定まで、なんと38年も冤罪に翻弄されてきました。1986年、事件発生。1990年、福井地裁(一審)では無罪判決。しかし二審の高裁金沢支部で懲役7年の逆転有罪。その後の最高裁が上告棄却し、刑が確定。前川さんは服役することになります。2004年、満期出所。2011年、第一次再審の高裁金沢支部は再審開始。ところが2013年、名古屋高裁がこれを取り消し。そして今回の再審開始決定をつかみ取るのが第二次再審請求です。

多くの冤罪事件がそうであるように、袴田事件も福井女子中学生事件も、検察がもっと早く証拠を開示していればもっと早い段階で違う展開になっていたであろうという共通点があります。袴田事件では5点の犯行着衣のカラー写真が出てきたことから、血痕の赤みが残るか残らないか、という論争に発展しました。福井女子中学生事件では、弁護団の粘り強い要求に検察が287点の証拠を開示したのですが、「血のついた前川を見た」という知人の証言が嘘だったことを示す証拠が出てきました。この知人は自身の刑事事件での量刑軽減や保釈獲得といった自己の利益を図る目的で虚偽証言を行っていました。そしてあろうことか、証言後に警察から結婚祝いとして金品を受け取っていたのです。裁判所は「関係者の供述に事実誤認があると知りながら、それを明かさず有罪主張を続けた」として検察を断罪します。判決文では「不誠実で罪深い不正の所為」と切り捨てました。

でも考えてみてください。この証拠を出したら無罪になってしまう。これは隠しておこう。分かった上で証拠を隠し、前川さんを罪人にした訳です。不正どころか、極刑に値する重大な犯罪です。責任を取らせなくてはなりません。同時に、被害者の首を電気コードで絞め、2本の包丁で50ヵ所以上を刺した残忍な真犯人は野に放たれたままなのです。許せますか？

(事務局/なつし聡)



(決定書を手にとる支援者のバンザイの声に答える前川さん/写真提供:国民救援会)

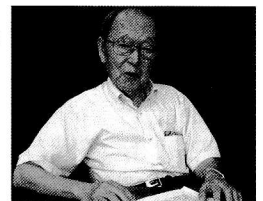
## 訃報

生前の木谷明さん(写真上)  
と山際永三さん(写真下)

当会とも関係の深かったおふたりの巨人が亡くなられてしまいました。

木谷明さん(弁護士元裁判官)が11月21日、急性心筋梗塞のため永眠されました。享年86。山際永三さん(映画監督)は11月28日、老衰による敗血症のため永眠されました。享年92。おふたりとも葬儀並びに告別式は近親者のみで執り行われました。

木谷明さんは当会のリーフレットにも「応援しています」と顔写真入りで登場していただいています。裁判官時代には30を超える無罪判決を言い渡し、一度も上級審で破られたことがないという伝説の裁判官。「イチケイのカラ



ス」のモデルにもなっていたという話は有名です。このような人はもう二度と現れないでしょう。

山際永三さんは映画監督として有名ですが、『コメットさん』『帰ってきたウルトラマン』『ウルトラマンタロウ』などを代表作に挙げる人も多いはず。しかし、冤罪支援運動や死刑制度廃止運動、被逮捕者の人権擁護運動などでも知られ、「人権と報道・連絡会」の活動を30年以上続けてこられました。そして、冤罪犠牲者の会主催の記念すべき第1回イベントは「山際永三講演会」だったのです。

おふたりのご冥福を心よりお祈りいたします。（事務局）

## <新連載> 「再審無罪をつかむまで」～第1話「個人訴訟で再審を始める」



冤罪の私は、刑期を満了して22年4か月ぶりに出所しました。獄にいる間はいつも、外に出たら闘いを再開するぞ、という意識でいたので、私は出るや否や、取るものも取り敢えず、その準備を開始します。

再審請求の難しさについては、獄にいる間に勉強していたので判ります。始めるにはまず、熱心な弁護士を探さなければなりません。1審を担当してくださった弁護士は、顔を合わせて間もなく、私が訪ねてきた意味を察して、再審請求の手助けはできないと言いました。よほど僕の事件の原審に手こずったのでしょうか。多分そうだろうと思っていたのでこの先生はあきらめました。

2審、3審の弁護団は大勢で組織していただいたのですが、中心になって熱心に動いてくださった主任弁護士を訪ねていきました。でもこの方は京都在住だったのです。今から再審請求を始めるというのに、京都には動きにくいといい、弁護団を構成していた東京の何人かの先生に声をかけてくれました。でも、色よい返事はもらえませんでした。

その主な理由は私の事件があまりに複雑すぎて、資料を読みこなすだけで数か月もかかるかという代物だったからです。裁判記録だけで積み上げると3メートルくらいになります。こんな事件を手掛けたら、他の仕事ができなくなってしまう。

再審請求が通常事件より手間がかかることはみな、承知しています。お金など全くない私の事件を、助けてほしいと思うほうが考え違いなのです。よし、それなら一人で戦いを始めよう、と決心しました。お手本になる見本の文書は積み上げた事件の公判記録です。

（つづく）（「遺体は誰？ 折山事件」再審請求人/折山敏夫）

## 天竜林業高校成績改竄事件

まだまだ闘っている最中の事件があります。このコーナーではそんな事件をご紹介します。

元天竜市長中谷氏と私が申し立てている再審請求事件について進展がありました。すなわち、中谷氏が私に贈賄を行ったとされる平成19年12月10日に、中谷氏がスルガ銀行天竜支店を出た時刻は、12時26分の直後であったことが複数の客観的証拠によって明らかとなったのです。判決の有罪認定の前提においては、当日、中谷氏が11時乃至11時15分までに、スルガ銀行を退店して天竜林業高校に行き、10万円を北川に渡したとされてきました。しかし、このような事実はあり得ないこととなりました。これは、最高検察庁が上告審段階で開示した新証拠と、弁護人が弁護士会照会によって明らかにした新証拠とにより裏付けられたのです。さらに、虚偽公文書作成等に係る教員2名の供述について供述心理学の専門家に供述の分析と評価を依頼したところ、2名の供述は共に虚偽である可能性が高い、との鑑定結果を得ました。

これらの新証拠をもって裁判所に対し、先ずは三者協議の開催を求めています。裁判所は相も変わらず、見て見ぬふりです。「期日を開くのか、いつ開くのか」「証拠開示を勧告、命令するのか」等々は、すべて裁判官の胸三寸で決まるとのこと。裁判所は真実を貴ぶ裁判官の集まる所であらねばならないのに、裁判官は人権侵害に無頓着です。世論の力で司法の不条理を糺してください、皆様、力をおかしてください。（再審請求人/北川好伸）



# 今市事件

兄は、無実です。決して犯していない罪で無期懲役の判決を受けました。これまで、そしてこれからの道のりは、数々の不条理との闘いです。

事件当初、メディアは兄を犯人として断定的に報道し、世論は兄を有罪と決めつけました。しかし、裁判で提示された証拠には、多くの矛盾点がありました。それでも、裁判所は検察の主張を優先し、兄に有罪判決を下したのです。

裁判官は、まるでパズルを無理やり合わせるように、証拠をねじ曲げ、兄を犯人に仕立て上げようとしていました。弁護団は再審を準備していますが、日本の再審制度は非常に厳しく、中途半端なものでは勝てません。

袴田巖さんの再審無罪のように、いつか必ず兄の無実が証明されると信じています。しかし、その間、冤罪犠牲者の家族は大きな苦しみを抱え続けています。特に、巖さんの姉ひで子さんは、比類なき苦勞を抱えながら巖さんの無実を世に訴えるため、日夜奔走していました。

冤罪事件は単に個人の人生を破壊するだけでなく、社会全体の信頼を損なうものです。今市事件は、日本の刑事司法制度に存在する数々の問題点を浮き彫りにしました。私たちは、一刻も早く兄の無実を証明し獄中から救い出し、再審無罪を勝ち取った上で、このような悲劇が繰り返されない社会にしようと取り組んでいます。

冤罪と闘う道のりは長く険しいですが、私たちは決して諦めません。兄の無実を信じる気持ちは、日増しに強くなっています。皆様の温かいご支援が、私たちの力になります。  
(えん罪今市事件・勝又拓哉の弟 / 高瀬有史)

いまいち  
**今市事件  
は冤罪です！**

勝又拓哉さん

**私は  
無実です**

わたしは、無実です。  
東京高裁は、有罪ありきの判決でした。  
高裁では、地裁判決の矛盾が気づきと明らかにされたので、  
無罪判決が出ると思っていただけにショックでした。  
最高裁では、かならず無罪を勝ち取りたいと思います。  
どうか無実の私を助けてください。  
ご支援よろしくお願ひします。

デッチ上げ  
のストーリー  
自白の強要

※それぞれの事件を更に詳しく知りたい方は冤罪犠牲者の会YouTubeチャンネルでご確認ください。

遺体は誰？ 折山事件 [https://youtu.be/GWbjXIfi5yU?si=VYTWPpXC\\_DgMi01k](https://youtu.be/GWbjXIfi5yU?si=VYTWPpXC_DgMi01k)

天童林業高校成績改竄事件 [https://youtu.be/d\\_M6shxmIdU?si=8o7Z1sIZTFcsalfy](https://youtu.be/d_M6shxmIdU?si=8o7Z1sIZTFcsalfy)

今市事件 <https://youtu.be/IfEyuhlVTgs?si=Bamjz0P3AZSD4I81>



←遺体は誰？  
折山事件



←天童林業高校  
成績改竄事件



←今市事件

## ■今月の一句■

冤罪の 汚名着せられ この身体 父母の墓前に立つ資格なし  
(岡山刑務所在監/杠共芳)

木谷明  
Akira Horiuchi

違法捜査と  
冤罪 [第2版]

捜査官！  
その行為は違法です。

身柄拘束されて  
47年7か月、  
巖は頑張った。  
でもこのままでは  
終わらない。  
巖の頑張りを、  
再審法改正に  
ぜひつけて  
いただきたい。  
袴田ひで子

## ■今月のオススメ■

売れてます！ ↓

「違法捜査と冤罪～捜査官！その行為は違法です。」[第2版]  
木谷明著

元刑事裁判官・木谷明が誤った裁判による冤罪事件の実相を語る！  
【内容紹介】捜査機関の違法捜査により誤判となった多くの事件の原因と問題を元裁判官が明らかにした書籍の最新版。警察官、検察官の証拠隠しや捏造、嘘。それらの違法捜査を見抜かなかったことによる誤った裁判の実相が明かされる。新たに近時注目の袴田事件ほか、プレサンス元社長事件、大川原化工機事件を追加。

日本評論社 2090円

## ■編集後記■

前号で私事ながら、病状をご報告させていただいたところ、たくさんの励ましのメールやお手紙をいただきました。有難うございました。そんな訳でその後のご報告をさせていただきます。5月に右肺の3分の1を切除、6月にリンパ節に転移が見つかり、私の病状はステージ1からステージ3にスピード出世！7月から10月まで抗がん剤投与を受けました。リンパに転移した癌細胞は消滅。しかし10月末に左肺の下部に転移かもしれない影が見つかり、検査を兼ねて手術するかと聞かれましたが、半年に3回も入院できません。これが転移ならステージ4です。先日11月末に再度CTスキャンを撮り、再確認したところ、怪しい影は概ね消えていました。体内に残留していた抗がん剤が最後の力を振り絞って働いてくれたのでしょうか。今度はステージ4から3に降格！笑 CT画像などで目に見える大きさの癌細胞はなくなったということで治療は終了。今後は数か月に1度、CTスキャンを撮って経過観察していこうということになりました。寛解とはいかないまでも、ほぼ心配なく過ごせる状態にはなりました。もちろん数か月後、数年後に再発の可能性もありますので油断はできません。しかし、これで安心して年末年始を過ごせます。前回も書きましたが、冤罪で10年20年と自由を奪われることに比べたら大したことはありません。引き続き冤罪撲滅運動を続けます！！（事務局長/なつし聡）

## ■■冤罪犠牲者の会は当会の主旨に賛同していただける仲間を集めています！■■

「冤罪犠牲者の会」が結成されたのが2019年3月2日。お陰様で少しずつ会員が増え、現在、260名を超えました。冤罪に巻き込まれてしまい、闘っている人、再審を目指している人、無罪を勝ち取った人が約50名、獄中で無実を叫んでいる人が約30名、近親者・支援者が約185名で構成されています。冤罪撲滅に力を貸してくださる方を募集中です。冤罪に関心をお持ちの方がお近くにいらっしゃったら是非、声をかけてあげてください。

年会費：個人会員（正会員）2000円

### 「冤罪犠牲者の会」の口座

◎現金払込・ゆうちょ間送金の場合

記号番号 00150-7-515181

口座名称 冤罪犠牲者の会

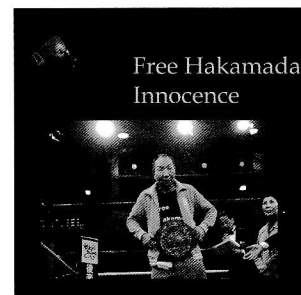
◎他行からの送金の場合

金融機関 ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900）

支店 ○一八店（ゼロイチハチ店）店番 018

預金種目 普通 口座番号 9884160

口座名義 エンザイギセイシヤノカイ



### ■CD「Free Hakamada」発売中！

Amazonや全国のCDショップでご注文できます。売上は冤罪撲滅を目指す支援団体に寄付します。

◎5月末で西新宿にありました桜井司法研究所は閉鎖しました。当面の連絡先は下記四角内の私書箱が当会の宛先となります。冤罪犠牲者の会の常駐スタッフはおりません。

お急ぎの場合は080-5182-3911（なつし聡）へご連絡ください。

◎PayPalでの会費納入は利用者が少ないため、今後はゆうちょ銀行への振込のみとさせていただきます。

発行：冤罪犠牲者の会

〒160-0022 新宿区新宿4-1-22 新宿コムロビル私書箱702号

<https://enzai.org/> e-mail : [info@enzai.org](mailto:info@enzai.org)

発行責任者：なつし聡